

平成 1 8 年度当初予算 施策別概要

5 3 4 過疎・離島・半島地域の 振興

(主担当部局 : 地域振興部)

53401 過疎・準過疎地域の自立促進 (地域振興部)

53402 離島地域活性化の総合的推進 (地域振興部)

53403 紀伊半島地域の活性化 (地域振興部)

< 施策の目的 >

(対象) 過疎・離島・半島地域が

(意図) 自立して活力と魅力に富み、人と自然が共生している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
過疎地域人口の減少 率全国比 (%)	目標値	1.12	1.11	1.10	1.08
	実績値	1.13	1.09		

過疎地域として指定されている県内市町村における人口の減少率と、全国の過疎地域市町村における人口の減少率とを比較した指標

< 平成 18年度に残っている課題 >

過疎地域については、平成 1 6 年度に策定した後期の過疎地域自立促進方針及び同県計画(平成 1 7 年度～平成 2 1 年度) に基づき、過疎地域を多様で豊かな地域資源と潜在力、可能性を有する地域として捉え、地域の創意工夫に基づく自主的・主体的な取組を基本としつつ、こうした地域の活動を支援し、地域の自立を促進する戦略的で効果的な施策を展開する必要があります。

離島地域については、平成 1 5 年度に策定した三重県離島振興計画 (平成 1 5 年度～平成 2 4 年度) に基づき、生活環境を保全する施設の整備や地域資源を活用した交流の促進などに関係市、民間団体等と連携して取り組む必要があります。

東紀州地域については、世界遺産に登録された熊野古道を保全・活用する事業を展開し、地域の個性を活かした取組を実施していく必要があります。このため、「熊野古道アクションプログラム」に基づき、地域住民、事業者、行政が協働して、活性化事業を実施するとともに、熊野古道センター (仮称) の整備を進めます。

また、「紀南地域の振興策」に基づき、振興策を着実に促進するとともに、紀南中核的交流施設整備に向けた取組を進めます。

< 平成 18年度の施策の取組方向 >

後期の過疎地域自立促進方針及び同計画を推進するとともに、地域の創意工夫に基づく自主的・主体的な取組を基本として、限られた財源で効果的な投資を行うため、過疎対策事業連絡会議を活用し庁内関係部局との連携を図り、戦略的、重点的な施策の推進を図ります。

離島地域活性化連絡会議や離島対策事業連絡会議を活用し、第 6 次三重県離島振興計画の着実な推進を図ります。

「熊野古道アクションプログラム」に基づき、地域住民、事業者、行政が協働して、熊野古道の保存と活用を図るため、様々な取組を進めます。また、「伊勢路を結ぶ」をテーマに多くの人々が協働して地域づくりを進めることを支援するとともに、熊野古道伊勢路の魅力を発信するための「熊野古道ツーリズム」を推進していきます。

また、熊野古道センター（仮称）の整備を進めるとともに紀南集客交流プロデュース事業、紀南中核的交流施設の整備支援等に取り組みます。

<主な事業>

離島航路整備事業補助金【基本事業名：53402 離島地域活性化の総合的推進】

当初予算額： 34,398千円 37,873千円

事業概要：離島航路事業の維持改善を図り、離島地域の振興及び離島住民の生活の安定と向上に資するため、離島航路事業者に対し補助を行います。

離島交流促進事業費【基本事業名：53402 離島地域活性化の総合的推進】

当初予算額： 3,750千円 3,750千円

事業概要：離島の振興を推進するために、三重県が離島にあるNPO等の民間団体に対し、地域活性化事業の実施を委託し、他地域との交流を促進するとともに、島の人々による地域活性化が展開できるしくみづくりを進めます。

(重) 熊野古道センター(仮称)整備事業費【基本事業名：53403 紀伊半島地域の活性化】

当初予算額： 613,710千円 1,138,859千円

事業概要：東紀州の集客交流のための情報拠点となる熊野古道センター(仮称)の建設工事、展示工事、資料収集などの事業を進め、平成19年初頭のオープンを目指して、整備を推進します。

(重) 中核的交流施設整備事業費【基本事業名：53403 紀伊半島地域の活性化】

当初予算額： 630,004千円 451,278千円

事業概要：「紀南地域の振興策」(提言)に基づき、集客交流の推進に向け、引き続き中核となる交流施設の整備に取り組みます。

(重) 世界遺産(熊野古道)対策推進事業費【基本事業名：53403 紀伊半島地域の活性化】

当初予算額： 58,919千円 33,324千円

事業概要：平成16年に世界遺産登録された熊野古道の保全と活用のため、熊野古道アクションプログラム2の着実な推進を図り、地域の活性化につなげていきます。